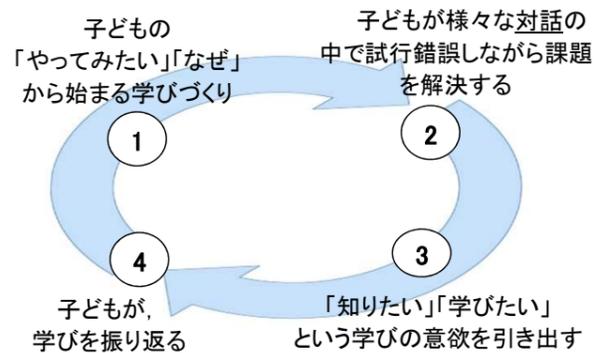


「重点取組」

主体的に学ぶ子どもの育成
～「学び合い」のある授業を目指して～



<個に応じた取組>

- 教え合い
- パワーアップウィーク <小>
- 学びタイム <中>

<教職員の取組>

- みる・みる・みせる

個に応じた取組

小「パワーアップウィーク」★小学校で実施
【自己エンジンをもって学び続ける子に！】

中学校の定期テスト期間に合わせて実施。期間中児童は、自分で宿題を決め、主体的に家庭学習を行う。

<子どもたちの姿>

- ・「なぜ?」「どうして?」「調べてみたいな?」からはじまる家庭学習
- ・子どもたちの「分かった!」「そうだったのか!」があふれるパワーアップノート
- ・授業でのふり返りの視点を大切にしたりふり返り⇒自分の学びをよりよく調整する

質を高める視点
“学びが広がっているか・深まっているか”

中「学びタイム」★中学校で実施
【自分で考え、選択し、決定する】

定期テスト発表期間中の放課後、学年ごとに教室を分けて自主学習会を実施。参加は自由。先生に質問、生徒同士で教え合い、一人で勉強...いろいろなスタイルの学習をする場となっている。

<参加した生徒の声>

普段の授業でなかなか聞けないことを質問できた。

分かっているつもりだけど、いざ聞かれると分からないところが見つかり、質問して理解できた。



【取組】生活場面から「問い」を抜き出す

【道上小学校では...】導入時に能動的な問題把握

・吹き出しや絵だけ見せる → 気づきを交流する → 児童が問題を作る

おにぎりを買おうとしている。
・おにぎりを5個買うのかわからない。
・おにぎりを何個買うのかわからない。
→買う数がわかれば問題ができるよ。

おにぎりがどれも1こ128円で売られています。こんぶのおにぎりを5こ、さけのおにぎりを3こ買います。代金は全部で何円になりますか。

・図だけ見せる → 気づきを交流する → 児童がめあてを立てる

ボールが箱に入っている。
・入っていないところもある。
・4個並んでいる所と2個並んでいる所がある。
・6個並んでいる所が2すじと4個並んでいる所が2すじ。
・ボールはいくつあるかな?
・お尋ねは、「ボールはいくつ入っていますか?」かな?

九九をつかって、ボールの数をもとめよう。

- 大切にしていること
- ・他教科との関連や生活場面とのつながり
 - ・不利益(情報を与えないことで広がる創造力)

【取組】メタ認知力を高める「学びのふりかえり」

【湯田小学校では...】学びのふり返り、学びを見直す

- ・ふり返りの視点
- ①うまくいったところ(いかなかったところ)はどこか
 - ②うまくいった(いかなかった)のはなぜか
 - ③次はどうするか
- 大切にしていること
- ・学びの結果だけでなく、学びの過程に着目させる。⇒学びの過程の充実

・学びの過程(何につまずいているのか、どのように学んでいるのか)をしっかりと見取る。
⇒個に応じたアプローチをする(個別最適学習)

T: どうしてこの絵をかいているの?
C: 友達が塗っているから...

T: どうしてこの絵をかいているの?
C: 絵をかいたら、動物の赤ちゃんの大きさがよく分かるから

※表面的には「絵をかく」という同じ活動でも、子どもたちの意図は異なる。「今、何をしているの? どうして〇〇するの?」と、子どもたちの中に入り、子どもたちの活動の意図をしっかりと聞く(つかむ)

教職員の取組 「みる・みる・みせる」

～ほかの先生の授業をみる・自分の授業をみせる～

【神辺中学校では...】
学期に1回、2週間程度の期間を設け、教員を8～9人のグループに分けて実施。授業参観後、どのような場面であの子の表情や様子が変化したのか、生き生きとしたのはどこか等、学びの中の子どもの変容を評価し、日常的な対話及び授業のきりりポイントとして付箋に記入し、交流する。

<教員の感想>

- ・学びのつながりを自分の教科以外で見られる面白さがある。
- ・自分の教科では見られなかった子どもの生き生きとした表情を見ると、その子に対する理解が深まる。
- ・異学年の子どもの反応・つぶやきが自分の糧になる。

〇〇がページをめくって黙々と書いていました。「やろう」という気持ちになると動くんですね!

イラストを見ながら「うーん」と悩んでいる姿が印象的でした。



(職員室内の掲示版)

【取組】自分との対話・先生との対話・子どもどうしの対話

【中条小学校では...】多様な環境づくり

- ・自分で課題を解決したり、グループで活動したりと、自分で選択したやり方で学習が進められるようにする。
*自分で学習計画を立て、プリント学習を行ったり、調べ学習を行ったりするなど。
- ・思考を手助けする教材や教具を用意する。
*具体物やヒントになるプリントなど。
- ・学校図書館の利用

- 大切にしていること
- ・子どもたちが自分で学習の進め方を選択すること。
 - ・一人でする。
 - ・ペアやグループでする。

自分の課題の内容と進度に合ったやり方で



【取組】個に適したアプローチ 個別最適の学び

【神辺中学校では...】「神中リーダーSST(スティー・サポート・チーム)」

- ・生徒による学習推進組織
- ・3年生のリーダーたちが1年生の教室で学習の仕方をアドバイスする。
- ・実施期間は、定期テスト前の1週間程度。内容は1年生のニーズを吸い上げて決定している。
*教科の学習プリント支援、テスト計画の立て方指導、テスト勉強の方法をアドバイスなど。

(教えるために)復習したいので、1年生のテスト範囲を教えてください。

(1年生の)学習プリントをください。

3年生に教えてもらった勉強法をやってみよう!

- 大切にしていること
- ・「生徒に任せる」
 - ・伝え方、教え方を主体的に考えて行動
 - ・ヨコのつながりを活かした自主研修
 - ・タテのつながりを活かした学習指導



家庭教育支援アドバイザー(AD)

○勤務...週2回
午前:中学校 午後:小学校

- 担っている役割
- ・小中連携
*兄弟姉妹関係の情報共有と対応
- ・担任の子も理解への助言
- ・不登校児童生徒の家庭訪問
- ・担任との連携
*ADのアドバイスを受けて担任が動く
→動いた結果を検証・次の動きを考える→動く→検証...保護者・子どもの変容
- ・関係機関との連携

アンケート結果から見えること

	2018年度2学期	2020年度2学期
教師	76.9	81.3 (+4.4)
児童生徒	64.6	78.2 (+13.6)
	72.8	77.4 (+4.6)

子ども主体の学びを目指して、教師が対話する場を工夫することで、自分の考えを伝える・分からないことやもっと知りたいことを伝える子どもの割合が増えている。